

〈学界消息〉

◇日本環境教育学会第6回大会

5月13日(土)、14日(日)、千葉県立中央博物館ならびに県立青葉の森芸術文化ホールで、本学会の全国大会が開かれた。大会初日、「東京湾岸の残された自然と環境教育」というテーマの下に、風呂田利夫さん(東邦大学)とケビン・ショートさん(博物誌ライター)からそれぞれ、「東京湾の環境教育」と「干潟の環境教育のポテンシャル」と題して記念講演があった。そして、二日間にわたって、約130の一般講演、8つの展示発表、7つのミニシンポジウム、3つのワークショップ、5つの自由集会が開かれ、環境教育をめぐる活発な議論が行われた。

◇日本環境教育学会公開シンポジウム

よりより未来のために：自然共生型社会への途
表記公開シンポジウムが、文部省平成7年科学研究費補助金「研究成果公開促進費」(研究成果公開発表B)を受けて、11月11日に、東京のお茶の水スクエアC館ホールで開催された。第1部では、7人の学会員がそれぞれの専門分野から環境教育の質的発展を目指して問題提起を行った。第2部では、参加者がグループに分かれて、環境教育のひろがり、可能性と協同をさぐるワークに取り組んだ。第1部の発題は次のとおりであった。基調報告「自然共生型社会への途」

柴田敏隆(コンサベーションイニシアチブ)

「環境教育をヒトの原点から考える」

山田卓三(兵庫教育大学)

「都市におけるフィールドワークの提案」

小川潔(東京学芸大学)

「環境変化の新段階」

和田武(愛知大学)

「環境教育における情報の利用」

中山和彦(筑波大学)

「環境教育における“いのち”と“こころ”の棲み家」

谷口文章(甲南大学)

「豊かな心と人生のために」

金森正臣(愛知教育大学)

◇日本環境教育学会関西支部

第4回研究大会(報告)

第4回関西支部研究大会が、1995年12月9日に奈良産業大学で開催された。この研究大会も年々発表数が多くなるにつれて、内容が多様でかつ充実したものになってきた。また関西という地域としての特徴が随所にみられるのも、支部大会の大きな意義といえよう。今年の支部総会では、今日まで懸案になっていた関西支部規約がようやく議決された(この報告については別の機会に譲る)。研究発表は、今年は22件の一般研究報告と5つのパネル展示があった。また特別講演は、奈良大学教授西山要一氏に「大気汚染と文化財保存」について話をしていただいた。シンポジウムは、昨春からの計画どおり「阪神大震災と環境教育のその後」について、震災後10ヶ月を経過した今日までの研究をふまえて行われた。

・特別講演

講師の西山要一氏は、国宝や重要文化財の密集する奈良盆地北部を中心に、奈良大学文学部文化財学科において研究を進め、奈良の文化財保存に尽力されてきた。今回は、同学科保存科学研究室で1987年から行ってきた調査・研究の成果を中心に、大気汚染が文化財にどのような影響を与えるかについて、具体的な研究報告があった。また1000年以上の間大切に保存されてきた文化財が、いま僅か数十年で消滅する危機的事態にあるという事実も知らされた。そして文化財を保護するための対策の模索は、文化財の豊富な奈良県だけでなく他の地域についても同様であること、とくに阪神大震災と神戸市の文化財の現状や、国外の事例についても、スライドなどを用いて紹介された。

・シンポジウム

基調講演として甲南大学教授谷口文章氏から「震災とこころのケア」について論説と問題提起

があった。国の内外情勢が慌ただしい現在において、1995年1月17日という日は徐々に忘れ去れつつある。しかし、自然の恐ろしさを嫌というほど思い知らされたこの地震は、神戸をはじめ関西の人々の記憶から容易に消えるものではない。

「『世界没落』の中から、新しい生き方が見いだされ、環境教育の原点の再認識ができるように思える。つまり、それは生命の温かさと脆さ、生と死、傲慢と謙虚さを教えることではないだろうか。」このように谷口氏はご自身の経験ゆえに、説得力のある言葉で参加者に迫った。つづいて大阪教育大学教授鈴木善次氏がコーディネーターになって、パネルディスカッションが行われた。パネリストとして兵庫県立人と自然の博物館研究員戸田耿介氏、神戸市役所吏員秦誠氏、神戸市立御影小学校教諭辰巳武宏氏の3氏がそれぞれの報告をした。そのあと谷口氏も加わって、質問や意見交換が行われた。フロアからも様々な意見が出され、討論が盛り上がったところで時間切れとなってしまった。しかしこの問題を今後も取り組むことの必要性和、その重要性についての共通認識を全参加者がもって、このシンポジウムを閉じた。

・一般研究発表

発表は、午前・午後にわたって3会場で口頭発表と討論が行われた。実践報告としては学校関係だけでなく、学校以外の様々な場における担当者の興味深い、熱心な取り組みが見られた。一例を紹介すると、博物館に関連するものとして貝塚市立自然遊学館、槻原市立昆虫館、兵庫県立人と自然の博物館などの試みが見られた。これらは博物館独自の活動に加えて、学校や地域との連携をも重視した環境教育に意義が感じられる。学校週5日制の完全実施を目前にして、このような地域の中での社会教育と学校教育の連携がこれから大いに期待される。学校教育の新展開に関するものとして、とくに全国でも初めての高等学校における“環境科”の設置とその後の経過報告は、通信制、単位制、定時制の統廃合や総合学科など、関西だけでなく、今後全国の新しい高等学校への模索の一環としても注目されるであろう。さらに近年、先進諸国では科学教育にSTS教育を取り

入れるかについて検討されることが多くなってきた。STS教育と環境教育の目的には共通点も多く、部分集合的に据えられることもあり、両者を融合した実践報告には興味深いものがあつた。また従来、教科における実践研究は小学校・中学校・高等学校での報告が殆どであつたが、今年発表では、大阪教育大学と奈良教育大学で教員養成系の学生を対象にした報告もあり、評価されよう。

第4回関西支部研究大会を振り返ってみると、熱心な実践報告ではあるが学術的アプローチに疑問がなかったわけではない。逆に発表の学術性はあつても、環境教育としての視点や実践上の説得力に欠点もあつたのではなからうか。しかし新しい“環境教育学”の発展過程では、このような時期も欠かせないと考えられる。少しずつではあるが、関西でもその芽が確実にそだちつつあるという実感を得ている。

(文責 大会記録担当 藤岡)

・研究題目と発表者()は所属

「世論誘導分析——都市教育とリスク科学の視点から——」

福島古(グローバル環境文化研究所)

「兵庫県南部地震による造成住宅地の斜面災害について——環境リテラシー育成の視点から——」

藤岡達也(大阪府立大学)

「世紀末の動向と環境教育」

西本安範(21世紀パラダイム研究所)

「唯識論と環境心理」

山田弘司(エコロジー・ネットワーク大阪)

「貝塚市立『自然遊学館』におけるグリーンカレッジの設立、活動」

白木江都子(貝塚市立自然遊学館)

「南松尾中学校と貝塚市立自然遊学館との連携活動について——特別展 南松尾中学校標本展の紹介——」

本田悦義(大阪教育大学)

「野外での学校行事を利用した環境教育——大阪府中学校における環境教育の現状と都市緑地を活用した環境教育の試み——」

- 村上幸子（大阪教育大学）
「大学生に対する地域自然学習の試み——チョウヤトンボ、野鳥から見た大阪教育大学柏原キャンパスの自然環境」
- 本田悦義（大阪教育大学）
「子供会における環境学習——『史跡めぐり』とエコクラブの報告——」
原田智代（大阪市天王寺区子供会育成連合協議会）
「奈良教育大学自然環境教育センター設置の背景と現状」
- 前田喜四雄（奈良教育大学）
島居春己（奈良教育大学）
○岩本廣美（奈良教育大学）
「昆虫を通して見た水辺と人のかかわり——榎原市昆虫館における調査展開について——」
○日比伸子（榎原市昆虫館）
山本知巳（榎原市昆虫館）
島田正吾（榎原市昆虫館）
「奈良盆地の水利慣行からみた環境」
浦西勉（奈良県立民俗博物館）
「歴史から環境問題へ」
田中嘉明（奈良市立一条高等学校）
「新しい環境教育を求めて——奈良環境教育研究会の約5年間と私の環境教育の変遷——」
本庄真（奈良県立榛原東小学校）
「土壌を題材とした環境教育の授業実践・事例報告」
○奥村裕之（大阪教育大学）
植田善太郎（泉大津市立条東小学校）
「小学生の水循環概念の実態について——大阪市および川崎市における調査より」
久良美幸（大阪教育大学）
「環境教育用太陽熱給湯システム——エコ、エネ、ステーション——」
○上垣内賢司（神戸大学）
青木務（神戸大学）
榎見和孝（神戸大学）
「自然環境の変化を科学・技術・社会より考える——河川の環境調査を例として——」
松本弘（大阪府立狭山高等学校）
- 「環境科学科・環境課題研究の実践（自分自身の感覚で環境をとらえる）」
○清水理（和歌山県立向陽高等学校）
岸田光平（和歌山県立向陽高等学校）
「環境教育と社会の関わりを考える——環境保全型経済社会整備が進むなかで——」
○岡靖敏（グローバル環境文化研究所）
岡村悦治（グローバル環境文化研究所）
「環境教育と地域づくりへのアプローチ——宝塚の取り組みから見えるもの——」
○岡村悦治（グローバル環境文化研究所）
飯島隆（宝塚市市役所環境保全課）
岡靖敏（グローバル環境文化研究所）
松本郁子（グローバル環境文化研究所）
「大阪シニア・自然大学の経験」
長井美知夫（(社)大阪自然環境保全協会大阪シニア自然大学事務長）
（○は共同研究報告における代表者）